

研究名

済生会横浜市南部病院泌尿器科における広域抗菌薬使用状況の調査

1. 研究の対象

2022年8月から2024年3月の期間に済生会横浜市南部病院（以下、当院）の泌尿器科におけるタゾバクタム/ピペラシリン、メロペネム、レボフロキサシン、セフェピムを14日以上投与した患者を対象とした。

2. 研究目的・方法

抗菌薬の長期投与は多剤耐性菌の出現などに繋がるため、適切な期間使用することが求められる。済生会横浜市南部病院（以下、当院）では、抗菌薬適正使用支援チーム担当薬剤師が抗菌薬を14日以上投与している患者に対して、医師に治療の方針や継続の必要性を確認し、必要に応じて他剤への変更を提案している。そこで今回、自身が担当する泌尿器科病棟における過去の広域抗菌薬長期投与時の使用状況を把握して、今後薬剤師として求められる課題を見出し、更なる抗菌薬適正使用を推進することを目的に調査を実施した。

3. 研究に用いる情報の種類

観察研究

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 大塚 瞭

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 大塚 瞭